進捗状況報告シート

(2010年度·大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	言語教育研究センター
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理
	理念・目的との適合性
	学術の進展や社会の要請との適合性
	(KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

Ⅱ. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」		進捗評価
1. 社会環境や学生の教育ニーズの変化、学部増等に対応するため、センター運営組織体系を2013年度を目途に見直す。	→言語教育研究センター運営組織体制の確立。	$\qquad \qquad \Box \rangle$	С
2. 地域社会への貢献のため、中・高英語担当教員を対象とした教育プログラムを、現行の1.3倍の規模に拡大する。	→中・高英語担当教員対象のセンター教育プロ グラムへの参加者数。		В
3. 英語を始めとする言語教育において言語運用能力の涵養に重点を置いたプログラムを提供することで応える。	→インテンシブ・プログラム受講者数、言語教育科目の履修者数。英語インテンシブ・プログラム受講者のTOEFLの成績。	$\square \rangle$	А

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」		進捗評価
	\rightarrow		☆
		└ /	
	\rightarrow	\Box	☆
		<i>□</i> /	

	《小項目ごと	との現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要
☆	小項目4.0.1	(現状説明) 言語教育研究センターは全学の言語教育の推進の中心的役割を果たしている。英語、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語、日本語の各言語の言語教育の全学的な調整のために、それぞれの言語別に教育委員会を設け、全学提供科目の運営に当たっている。
☆	小項目4.0.2	(現状説明) 言語教育研究センターでは、毎月、センター執行部会を行い、そこでセンターの教育研究組織のあり方について意見交換を行っている。また、自己点検委員会を立ち上げ、教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っている。
☆	その他	

◎効果が上がっている事項

点	検·評価(1)】効果が上がっている事項
		英語、フランス語、ドイツ語のインテンシブ・プログラムと中国語、朝鮮語、スペイン語、日本語は、各々の言語の 教育委員会で運営されており、教育委員会は必要な機能を十分に果たしている。
¥	小項目4.0.2	毎月のセンター執行部会ではセンターの教育研究組織のあり方について意見交換を行い、自己点検委員会において、 定期的に十分な検証を行っている。
	その他	
次	年度に向け	た方策(1)】伸長させるための方策
ſ	年度に向け 小項目4.0.1	
	小項目4.0.1	

◎改善すべき事項

【点	検·評価(
	小項目4.0.1	中国語、朝鮮語、スペイン語、日本語は全学開講されているが、フランス語、ドイツ語は各学部開講になっている。 開講形態については統一されることが望ましい。				
☆	小項目4.0.2					
	その他					
【次	【次年度に向けた方策(2)】改善方策					
	小項目4.0.1	フランス語、ドイツ語を全学開講にするか否かについては、時間をかけ検討する必要がある。				
☆	小項目4.0.2					
	その他					

会 古 出 当 法

<u>©</u>	❷自田記述						
		&【次年度に向けた方策】					
☆	その他 (自由記述)						

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

○センターの教育研究組織の適切性について定期的に検証していることは評価できます。○記述内容は適切であると思われますが、もっぱらセンターの運営に関することが中心ですので、研究組織が理念・目的に適っ ているという観点で記述を加える方が望ましいと思われます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

(小項目4.0.1 現状説明に関して)

言語教育研究センターは本学の言語教育の改善のための要となる機関であり、その理念に基づいて、各言語に関してそれぞれ教育委員会を設け、充実した研究組織を形成している。

V. 本項目の評価指標

<全学的な	<全学的な指標>					
<個別的な指	<個別的な指標>					